



まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095

寒さに耐えて自然の厳しさを知る

1月21日、22日の2日間、瀬戸内FOS少年団連盟は邑久自然教育の森キャンプ場で「耐寒キャンプ」を開催。FOS少年団員（他市町の団員も含む）や指導者、保護者ら83人が参加しました。

参加者は、パレットの上に段ボールを厚く敷き、テントを設営した上からさらに段ボールで覆う耐寒仕様の寝所を自分たちで作ったり、ドラム缶風呂で温まったりと、寒さの中でも暖かく過ごせるよう工夫を凝らしていました。また、みんなでキャンプファイヤーを囲って暖をとるなど、参加した子どもたちは自然の厳しさを体感しながら楽しく冬の寒さを乗り越えています。

瀬戸内FOS少年団連盟 耐寒キャンプ



キャンプファイヤーを背に参加者で記念撮影

こどもパークの整備に向けて

市は、ゆめトピア長船周辺に全天候型の遊び場「こどもパーク」を整備する計画を進めており、どんな遊び場が良いかなどを考え、意見を出し合う市民ワークショップを開催しました。

計6回開催したワークショップには、子ども・大人合わせて約400人の市民らが参加。参加者からは「天候や季節を問わず、屋外・屋内で遊べる場所を実現してほしい」「体を動かす遊びができる場所がいい」など、さまざまな意見が出されました。

今後は、より良い遊び場となるよう、皆さんからの意見を参考にしながら「こどもパーク」整備基本構想をまとめ、本事業を進めていきます。基本構想が作成できましたら、市ホームページなどでお知らせします。

☎こども家庭課 ☎0869-24-8015

市民ワークショップを開催



1 day こどもパークの様子

ワークショップの様子

地域住民の安心・安全を守るために

このたび、消火・救助などさまざまな活動を1台で行うことができる消防車「13mブーム付多目的消防ポンプ自動車」を配備しました。この車両は900ℓの水槽を備え、少ない水でも高い消火能力を得られるCAFSと呼ばれる圧縮空気泡消火装置を搭載しています。また、13mのブーム（バスケット付放水塔）はビル5階相当の高さまで届き、先端から放水することができるほか、高所だけでなく水難救助など低い場所からの救助活動にも対応可能です。これにより、場所や災害の種類を問わず、あらゆる活動を展開することができ、大規模な災害が発生した場合には全国の被災地への応援出動も行います。消防本部は、本車両を活用し、引き続き市民の安心・安全の確保に努めます。

多目的消防ポンプ自動車を更新配備



13mのブームを伸ばして、遠くからでも消火活動が可能

瀬戸内発見伝

巻之百四十八

瀬戸内市文化財保存活用地域計画

文化財保存活用地域計画

文化財保存活用地域計画とは、平成31年4月に改正された文化財保護法において定められた法定計画です。この計画は、文化財の保存や活用に関する目標や取り組みの具体的な内容を定め、これに従って計画的に取り組みを進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を促進するものです。

作成の背景と計画の認定

本市では、国宝「太刀無銘一文字(山鳥毛)」をはじめ、「本蓮寺本堂」や「寒風古窯跡群」など多様な歴史文化資源(指定・未指定の文化財や

現在まで受け継がれてきた伝承・地名など多様な歴史的価値を包含するもの)を有しています。

これらの歴史文化資源は、地域の成り立ちを理解するうえで欠かすことのできないものであり、地域のアイデンティティや市民の郷土愛の醸成において重要な要素となります。しかし、この豊かな歴史文化資源の存在や価値についての認知度は低く、状況の変化による後継者不足や認識の低下などにより滅失の危機に瀕しているものも少なくありません。

そして、令和4年12月16日付けで「瀬戸内市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官に認定されました(認定件数は全国合計96件、岡山県内3件目)。

今後の取り組み

本市の多種多様な歴史文化の特徴を踏まえ、歴史文化資源をストーリーごとにまとめた8つの関連文化財群を設定しました。

例えば、本市は、国宝や重要文化財の刀剣類の約4割を占める備前刀の産地であり、現在まで刀職らにより刀剣文化が継承されてきたことから、市内には刀剣に関わる歴史文化資源が数多く残されています。これらを構成文化財

とし、「日本刀の聖地と中世の商都」という関連文化財群を設定しました。

具体的な取り組みとしては、刀剣の調査や備前刀の魅力を発信する刀剣講座などの開催、備前刀ゆかりの地のガイド育成、日本刀に関する技術の継承支援などを行っています。

他にも関連文化財群を中心に、本市の歴史文化資源の把握調査や魅力を発信する広報事業、後世に伝えていく人材育成や体制整備などに取り組み、地域と行政が一体となっ

瀬戸内市の関連文化財群ストーリー

1. 日本刀の聖地と中世の商都
2. 炎と土の芸術
3. 海を通じた文化の玄関口
4. 古墳と古代寺院
5. 寺社に残る文化や政治の足跡
6. 明治以降の芸術文化を生み出した人々
7. 中世の城館と近世の陣屋
8. ハンセン病療養所と瀬戸内市

て本市の豊かな歴史文化資源を後世に活かし、伝えていくために計画を進めていきます。



瀬戸内市文化財保存活用地域計画(表紙)